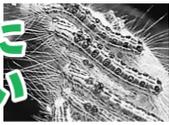


# チャドクガの幼虫にご注意ください



チャドクガの幼虫は、5月下旬〜9月下旬にツバキやサザンカに発生する、黄褐色に黒い模様の体長3cmくらいの毛虫(写真)です。毒針毛があり、毛に触れると激しいかゆみに襲われ発疹ができます。素手で触らないよう注意し、刺されたと感じたら、セロテープなどで毛を取り除いたあと、せっけんでよく洗ってください。幼虫の抜け殻や死骸に触れても発疹するのでご注意ください。発疹がひどい場合は皮膚科の診察を受けてください。

チャドクガの幼虫は市販の薬剤で駆除できます。区では、各特別出張所で噴霧器を貸し出していますのでご利用ください。

【問合せ】みどり公園課みどりの係(本庁舎7階) ☎(5273)3924へ。

# 地域の歴史や文化を未来につなげよう

# 新たな文化財6件が決定

区では区文化財保護条例に基づき、区内の文化財の保護と活用を推進しています。新たに決定した指定文化財2件、登録文化財2件、地域文化財2件を紹介します。

【問合せ】文化観光課文化資源係(第1分庁舎6階) ☎(5273)4126・☎(3209)1500へ。

## 指定文化財(2件)

区内の文化財のうち、特に重要なものを指定文化財として保護・活用しています。今回の指定で指定文化財は121件となります。

### 史跡 内村鑑三終焉の地(今井館聖書講堂跡)

北新宿3-10-1

キリスト教思想家の内村鑑三(1861年~1930年)が、明治40年(1907年)11月から亡くなるまで暮らした家の跡で、今井館聖書講堂が併設されていました。鑑三は、主義や思想にとらわれず幅広い交流を行った文化人で、キリスト教思想家としては「無教会主義」を提唱しました。聖書講堂は昭和10年(1935年)に移築され、目黒区中根に現存しています。

### 史跡 鈴木三重吉終焉の地(「赤い鳥」社跡)

歌舞伎町2-23-12

小説家・児童文学作家の鈴木三重吉(1882年~1936年)が、昭和4年(1929年)から亡くなるまで暮らした家の跡で、ここで児童文芸雑誌『赤い鳥』の編集・出版を行いました。三重吉は、東京帝国大学で夏目漱石に師事し、漱石山房の木曜会に参加しました。『赤い鳥』には、芥川龍之介・北原白秋・島崎藤村らの作品が寄せられ、18年間に196冊を刊行しました。

## 登録文化財(2件)

区内の文化財のうち、保存する必要があるものを登録文化財として保護・活用しています。今回の登録で登録文化財は51件となります。

### 有形民俗文化財

#### 旧源兵衛村の庚申塔

西早稲田3-24(私有地につき非公開)

延宝3年(1675年)に、8名の施主により造立されました。塔身部が丸柱型の庚申塔は、区内では類例が少なく貴重な事例です。源兵衛村は江戸時代のはじめに豊臣の遺臣とされる小泉源兵衛が開墾したと伝えられる村で、8名の施主は源兵衛村に縁ある人であると思われます。

### 有形文化財(歴史資料)

#### 市谷亀岡八幡宮の

#### 几号水準点(水鉢台座)

市谷八幡町15

内務省地理院は明治初期にイギリス式の水準点を導入し、東京を中心に几号水準点を各地に設置しました。この几号水準点は、明治8年(1875年)ころに境内の水鉢の台座に水準点を刻印したもので、当時の実測図によると標高94.8尺(約28.7m)と記されています。



# 人権相談をご利用ください

## 6月1日は「人権擁護委員の日」

全国人権擁護委員連合会では、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、人権に関する啓発行事や全国一斉人権相談などを行っています。秘密は厳守します。人権に関する悩みを、お気軽にご相談ください。

【日時】毎月第1・第3金曜日(祝日、1月の第1週を除く。6月は2日・16日)午後1時~4時(受け付けは午後3時30分まで)

【会場】申込み当日直接、区役所第1分庁舎2階区民相談室へ。

【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505へ。

## 地域文化財(2件)

区内の文化財のうち、地域において守られてきたもので地域の歴史を継承するために保存する必要があると認めるものを、地域文化財として保護・活用しています。今回の認定で地域文化財は41件となります。

### 都市・産業・歴史分野 有隣園跡

西新宿8-16

大森安仁子(1856年~1941年。米ミネソタ州生まれ)と夫の兵蔵(1876年~1913年)が、明治44年(1911年)に、セツルメント(地域社会奉仕)による社会事業を行うために設立した総合福祉施設です。昭和20年(1945年)5月の空襲で全焼し、現在は跡地に生涯学習開発財団による「有隣園記念の碑」が設置されています。

### 生活・歴史分野

#### 太宗寺の閻魔大王開帳

新宿2-9-2



江戸時代、毎年1月と7月の16日は「藪入り」と呼ばれる奉公人の休日でした。この日は「地獄の釜の蓋が開く日」といわれ、閻魔大王像や十王図のある寺院ではこれを開帳し、参拝する人々で賑わいました。太宗寺では、現在もこの日に閻魔大王像などの宝物を開帳し、「藪入り」の伝統を継承しています。

## リサイクル講座



①夏のリバーシブル帽子作り  
【日時】6月15日(木)午前10時30分~午後2時30分

【持ち物】古いズボンやスカートなどの木綿の布(約70cm×70cmで異なる色柄を2~3種類。ほどこいてアイロンをかける)、型紙用の紙、物差し、はさみ、裁縫道具、布に合ったミシン糸ほか

【費用】300円(材料費等)

②夏のブラウス作り  
【日時】6月27日(火)午前10時~午後4時

【持ち物】古布(和服地の場合は幅37~38cm×310cm、洋服地の場合は幅110cm×140cm)、裁縫道具

【費用】300円(資料代等)

……(以下共通)……

【対象】区内在住・在勤の方、20名

【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場】申込み往復はがき(1枚につき1講座)に4面記入例の

とおり記入し、6月6日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(T169・0075高田馬場4-10-2) ☎(5330)5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

衣類・着物・毛糸の分別回収

家庭で眠っている衣類(子ども服も可)・着物・毛糸を回収します。衣類・着物・毛糸はそれぞれ分けてお持ちください。虫食いやカビ等劣化しているもの、靴・かばんは回収しません。

衣類・着物は日本リ・ファッション協会、毛糸はエコギャラリー新宿の災害被災地支援事業「あったかを贈ろうプロジェクト」で使用します。

【日時】6月19日(月)正午~午後4時

【協力】日本リ・ファッション協会

【会場】問合せ「環境学習情報センター(西新宿2-11-4、新宿中央公園内) ☎(3348)6277へ。会場に駐車場はありません。

## はじめの「一歩」応援事業

「就労経験がない」「自分に合った働き方が分からない」など不安や悩みを抱える若者を対象に、グループワークや企業見学会、インターンシップなどで就職への「一歩」のサポートを支援する最長8か月のプログラムです。

【実施団体】(株)キズキ

●就労に向けた社会参加サポートプログラム

「人と関わるのが苦手だけど、外に出るきっかけがほしい」と感じている方向けにグループワークやボランティア活動で就労を支援します。

【実施団体】(株)キズキ

……(以下共通)……

【会場】区勤労者・仕事支援センター(新宿7-3-29、新宿ここから広場内)ほか

【問合せ】あんだんて ☎(3200)3311・☎(3208)0000

【実施団体】(株)キズキ

……(以下共通)……

●高卒認定試験受験サポートプログラム

高卒資格がないため進学や就職が難しい方向けに少人数制の学習支援をします。

【実施団体】(株)キズキ

……(以下共通)……

●心理カウンセリング(仕事と心の相談室)

不安を感じたときに自分のペースで就労することを目指すカウンセリングです。

【実施団体】日本カウンセリング・センター

●お仕事現場見学ツアー

仕事やあいさつ、マナーなどを学ぶほか、現場を見学するなどし、「働く」イメージをつかむことを目指します。

【実施団体】NPO法人ワークスコープ

【対象】区内在住の若年非就業の方(週20時間以下の就労は可)、8名程度

【申込み】7月21日(金)までにあんだんてへ。詳しくは、お問い合わせください。

【費用】自己負担。

働くことや自立に不安や悩みを感じている、区内在住の15歳~おおむね39歳の若者の就労・復学を支援しています。いずれも無料で利用できます(交通費等は自己負担)。

若者専門相談

一人一人の状況を丁寧に聞き取り、支援することで、安心して歩める環境を整えましょう。

それぞれに合った就労支援プログラム等を提案するほか、プログラム利用中の方の相談にも応じます。あんだんてを利用する全ての方にご利用をお願いしています。